

HSEオンデマンド講座

HSEの基礎

Introduction to
Health, Safety & Environmental Management System

2024年2月

一般財団法人 日本海事協会
交通物流部

- I. HSEとは
- II. HSE活動事例
- III. NKのHSE普及活動



日本の船社Aグループのホームページ

『造船所の建造監督業務には、以下の三点があります。
品質、工程、**労働安全衛生管理(HSE)指摘**をして改善を促したり、
他社のすぐれた事例を紹介することにより、**造船所の労働安全衛生向上**に向けて努めて行きます』



日本の船社Bグループのホームページ

『建造開始後からの新造船建造監督業務におきましては、新造船建造に関わる検査立ち会いはもちろんのこと、日々のパトロールや建造造船所との工程会議・品質会議及び**安全**に関する会議を通じ、**安全**・品質ならびに工程の**確保**をすべく、』

海外情勢に詳しい日本の大手船社は造船所のHSE導入に期待

船主

- ✓ 造船所でHSEを実施して欲しい（？）
- ✓ 安全管理システムの全体像を説明お願い（No）
- ✓ 船主監督も活動に参画したい（No）

認識ギャップ



船主の立場は

- CSR ～ 安全確保は企業の社会的責任
監督、作業員の安全重視
- 安全→品質→工程はバリューチェーン認識
- 起点のHSEは発注条件

日本

安全は黙して自力
達成目指す美学



いつの間にか
日本の常識は世界の非常識

課題～閉鎖社会で頑張っても、国際社会では評価されない事もある

I. HSEとは ~ その歴史

英国発、今やグローバルスタンダードのリスク管理法

英国労働安全衛生法



産業革命 1972~1974 1990 1992

工場法

Robens'報告
新HSW Act

Cullen
報告

海洋
Safety
Case法

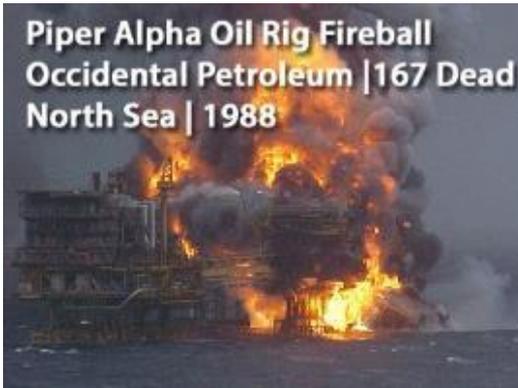
1993
メジャーオイル
海洋のHSEガイドライン

発注条件

造船のHSE

2003
OCIMF:世界を調査して
造船所へのHSE要求書

1988
HSEの原点
の事故



HSEの母

栗山監督
WBC逆算作戦

- ✓ Goal baseでリスク管理
- ✓ Risk Assessment, 管理策
- ✓ Management systemプロセス管理

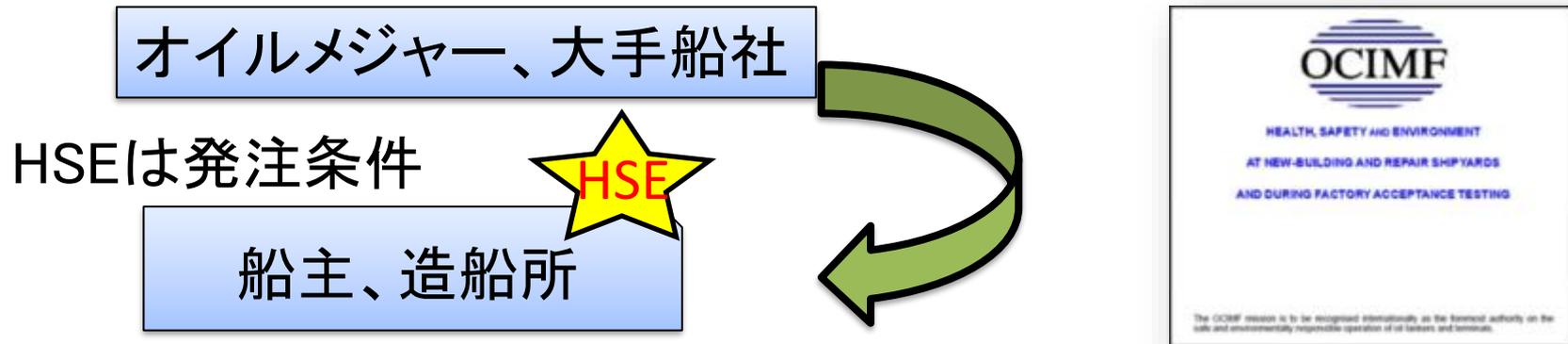
		第1者監査 (内部監査)	第2者監査 (発注者監査)	第3者監査 (外部監査)
造船所	図面	Design Review	船主図面承認	船級図面承認
	製造	品証部門の 自主検査	船主監督の検査	船級建造検査
	安全	安全部門の 自主点検	船主の参画	認証団体審査
船社	就航船	・OCIMF TMSA (船舶管理 内部監査)	・OCIMF SIRE検査 ・メジャーVetting	国際条約審査 ・STCW条約 ・ISMコード

「船主のHSE要求」とは、従来空白の「安全分野への発注者第2者監査」の意味を持つ。受注者は発注者に説明責任を負う。

I. HSEとは ～ 狙いは事業成功

HSE : リスクアセスメントを起点とする目標達成型近代的
リスク管理の仕組み。

- ①造船のHSE :
 - ・基本はOCIMFの「HSE ガイドライン2003」
 - ・シンガポール、韓国、中国、中東等で普及
- ②狙い:
 - ・働く者の安全確保
 - ・安全・品質・工程・引渡・利益確保・事業成功



HSEは事業成功を狙うための一丁目一番、最優先課題との立場

I. HSEとは～思考回路の特徴

HSEの根底に流れる失敗しない思考回路とは



- ①人間への認識～パーフェクトな人間はいない：
人間が小ミスをするのは当たり前。小ミスがあっても、全体崩壊・大事故に繋がる負の連鎖を断ち切る管理策の構築こそが大事。

- ②目標設定観～ゼロ災よりも減災：

軽傷

重症

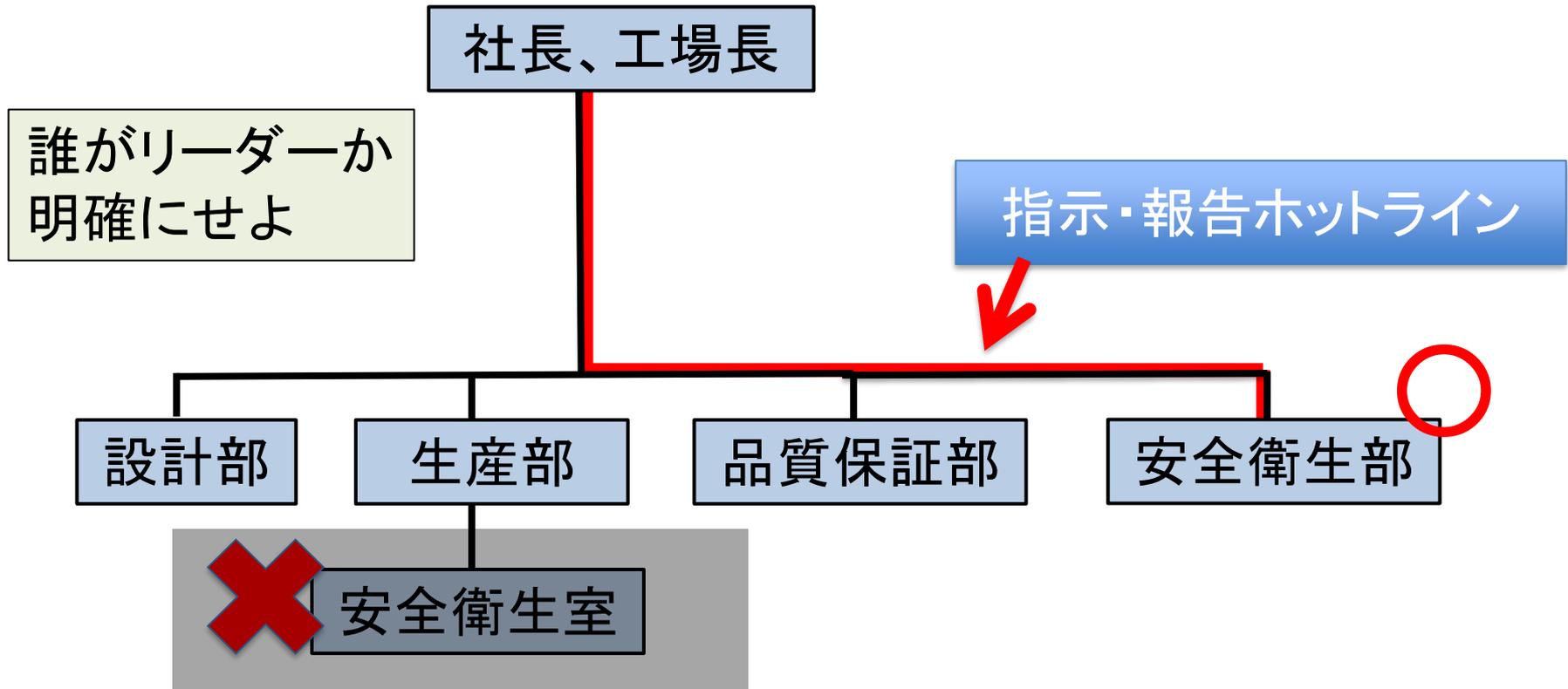
予算、人材はまず「受容不可能な最悪事態の回避」に集中。
目指す目標は、度数率よりも強度率の低減。



- ③ALARP行動基準～リスク管理は法だけに頼るな、考え出せ：

As **L**ow **A**s **R**easonably **P**racticable：

「合理的で実行可能なリスク管理策」が見つければ、「法になくとも」
経営者は積極採用する義務を負う。再発防止から予防に転舵。



- ・HSEでは、「経営」の横にしっかり「安全」を置く
- ・海外ではHSE Director任命が通常

Ⅱ. HSE活動事例～Stop Work Authority

作業停止権限、相互注意制度



他人の危険な状況に気が付いたら、
発見者は**すぐに声がけする義務**がある。
声かけられたら**Thank you**と返事。



Stop Work Authority

It is Your **RESPONSIBILITY** & You Have The **AUTHORITY**
Your Ideas and Concerns are Important
 We **ALWAYS** comply with the Operational Excellence Tenets of Operation shown on the reverse side of this card. As an employee or contractor, you are **Responsible** and **Authorized** to stop any work that does not comply with these tenets **AND there will be no repercussions to you**. That is our commitment to you.

GOM Business Unit
Warner Williams, Vice President
Clay Neff, GM Operations
Mike Birchfield, GM Asset Development

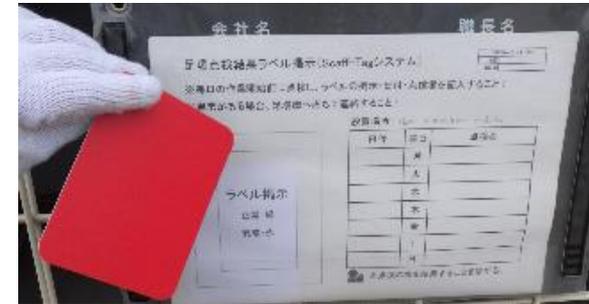
SWAとは、トップダウンで行う「相互関心→声がけ→有難う運動」

HSEの信念：近代社会の大事故の共通原因は人間相互疎外感だ。
「コミュニケーションの活性化」で大事故は必ず大幅抑止可能。

SWA～労安法25条(急迫した危険)の延長線上にある概念

Ⅱ．HSE活動事例～足場の安全確認

Scaff-tag システム 足場点検の見える化



- ・安全足場にはグリーンのラベル、危険足場にはレッドのラベル
- ・見える化で、作業員間の情報の誤解を解消する

Scaff-tag システム～労安則567条(点検義務)の延長線上の概念

誰かが勘違いでスイッチを入れたら、機器が動いたり、通電し、大事故になるケースがある。かかるヒューマンエラー防止策として、重要なスイッチには操作を不能とする鍵を掛け掲示を出す。

危機管理では、神頼み、性善説は禁止。積極的にLOTO活用



LOTO～労安則107条(運転防止鍵)の延長線上の概念

安全保護具の点検ミラー



- ・自分の姿の見える化。鏡を見て我が身を直す
- ・出入口、更衣室等に設置

点検ミラー: 労安則597条(保護具の使用義務)の延長線上の概念

Ⅱ. HSE活動事例～カルチャーが重要だ

HSE活動の全体像

HSE活動 — 物理的対策 —

技術力

- 足場タグシステム
- LOTO
- PPE点検ミラー
- ガス濃度検知
- 二重名札制度

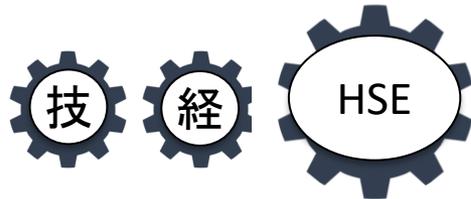
安全管理の推進力

文化的対策 —

経営力

- 社長直轄組織
- SWA相互注意制度
- PTW制度
- 褒賞制度
- Safety Moment
- House Keeping
- Morning Greeting
- TBM

安全管理の継続力



HSE成果 = 技術力 × 経営力

安全管理の推進の仕組みを構築しても、安全が継続される保証には
ならない。継続に必要なのは「安全文化」。ライデン大ハドソン教授

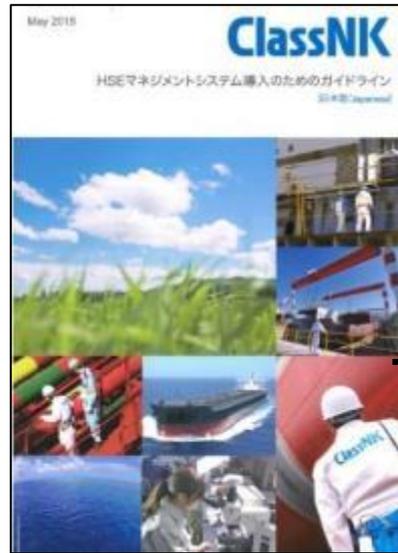
文化論～労安法3条(最低基準を超える経営者義務)の延長線上概念

Ⅲ. NKのHSE普及活動

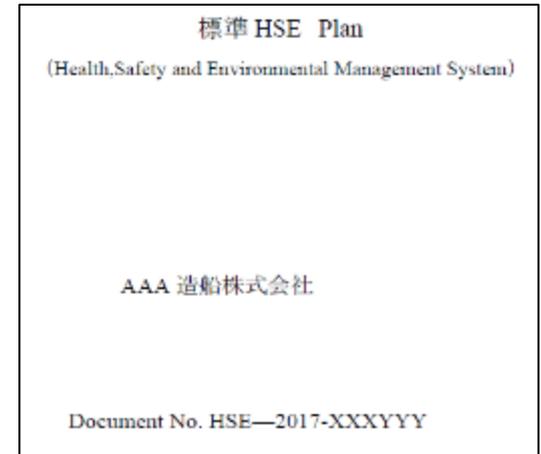
OCIMF HSE ガイダンス



NK HSE ガイドライン



標準HSE Plan



海外最新HSE調査



NKはHSEを通じて、

- ・国際競争力強化
- ・企業価値向上

に貢献する

HSE チェックリスト



マイページ
ログイン

<https://www.classnk.or.jp/hp/ja/>

日本海事協会HPから、
HSEガイドラインがダウンロード出来ます。

ご視聴ありがとうございました。

